

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題  
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（平成30年度～令和4年度）
研究開発課題名	薬用植物の国産化・品質向上に向けた栽培技術の開発
代表機関名	学校法人東京農業大学
研究開発代表者名	菱田 敦之

総合評価：優れている

**【評価コメント】**

薬用植物の生産性向上に向けた栽培技術開発や病害の診断、防除等、薬用植物栽培現地の問題解決につながる検討を着実に遂行した。さらに、企業連携の中で社会実装化も進めており、薬用植物の栽培拡大に資することが期待できる。また、研究成果に基づいた栽培指針をweb上で公開したことも評価できる。

今後、広く薬用植物栽培を普及させるためには、本課題の検討地域での成果の汎用性確認が重要であり、栽培地環境等が及ぼす薬用植物生育への影響要因の明確化検討も視野に、異なる栽培環境に適合し、異なる地域でも参照可能なマニュアル改訂に務めていただきたい。また、薬用植物の栽培に熟知した技術者による研修会開催等も含めたアウトリーチ活動を進め、生産者拡大につなげていただきたい。さらに、本研究成果を活用し、他の研究体制等とも連携してオールジャパンで、薬用植物国内栽培拡大に貢献することを期待する。

以上